

2025年6月

医療関係者 御中

一般社団法人 日本核医学会  
特定非営利活動法人 日本核医学技術学会  
日本放射性医薬品協会

放射性医薬品配送体制へのご理解とご協力をお願い

拝啓 時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて近年、流通を取り巻く環境が大きく変化してきております。2024年1月1日より、働き方改革関連法によって運搬業務従事者の時間外労働時間の上限が設定され、運搬業務従事者の確保が困難となる、いわゆる「2024年問題」の影響が各方面で懸念されております。

放射性医薬品は半減期に伴い放射エネルギーが減少するため、在庫として持つことができず、日々製造し配送を行う製剤が多くあることから、より効率的な配送体制の構築が業界の喫緊の課題となっております。また、核医学診療を支えるパートナーである運送業者並びに運搬業務従事者の安全を確保することは、運搬業務従事者の確保に繋がり、ひいては将来にわたり安定供給を維持する配送体制の構築の礎となります。これら配送体制の構築にあたっては、医療関係者の皆様のご理解ご協力が不可欠です。

つきましては、下記について関係者から相談があった際は、事情ご賢察の上、各施設の状況に応じてご検討いただけますと幸いです。

敬具

記

**納品目安時間幅に余裕を持たせ、その範囲内での納品にご協力下さい**

病院ごとに納入時間の目安幅（○:○○～○:○○）を設定していますが、時間幅が狭い病院が多くあり、また実運用として定常的に先頭の時間に納品することをご期待されている病院が多くあります。目安幅に余裕を持たせ、また定点納品ではなく、文字通り納品目安時間の範囲内での納品とすることによって、駐車場での納品時間待機などの負担を軽減することに繋がり、また、輸送中の道路事情が芳しくない場合にも、安心・安全運転で納品に向かうことが可能となります。

以上